

# 平成30年(2018年)度認知症対応型通所介護事業報告書

## 1. 施設の概要

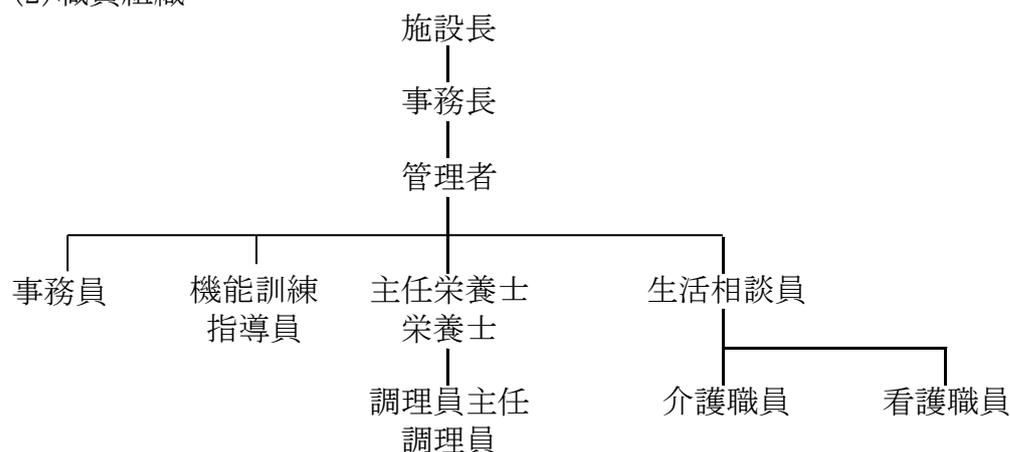
事業の種類	介護保険法に基づく通所介護事業
定員	12名
対象	認知症がある要支援・要介護状態の方
実施地域	姫路市(送迎対象は船津校区、豊富校区、山田校区、砥堀校区、香寺町)
営業日	月曜日～土曜日(祝日、8月13日～15日、12月30日～1月3日を除く)
営業時間	8:30～17:15(家族送迎の場合は17:30まで延長可)

## 2. 職員配置数

(1) 職種別人員 単位:人

職種	基準数	現員
管理者	1	1
生活相談員	1	2
介護職員	1	2
看護職員	1	3
機能訓練指導員	1	3
調理員		1
合計	5	12

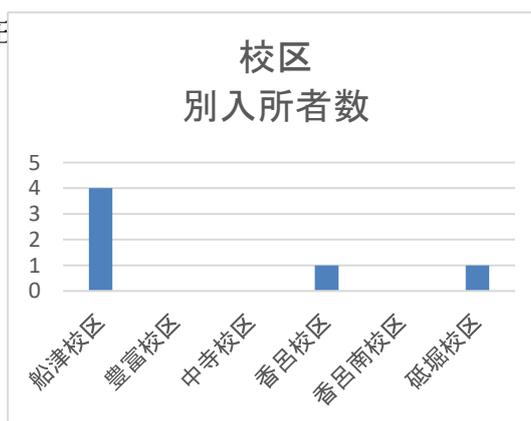
(2) 職員組織



## 3. 入所者の状況 (平成31年 2月28日現在)

(1) 校区別入所者数

校区名	人数	割合
船津校区	4人	66%
豊富校区	0人	0%
中寺校区	0人	0%
香呂校区	1人	17%
香呂南校区	0人	0%
砥堀校区	1人	17%
合計	6人	100%



## (2) 年齢別・性別利用者数 単位:人

年 齢	男 性	女 性	合 計
60歳未満	0	0	0
60～64歳	0	0	0
65～69歳	0	1	1
70～74歳	0	0	0
75～79歳	0	0	0
80～84歳	0	0	0
85～89歳	1	2	3
90～94歳	0	2	2
95～99歳	0	0	0
100歳～104歳	0	0	0
105歳以上	0	0	0
合計	1	5	6

## (3) 平均年齢及び最高年齢・最低年齢

単位:歳

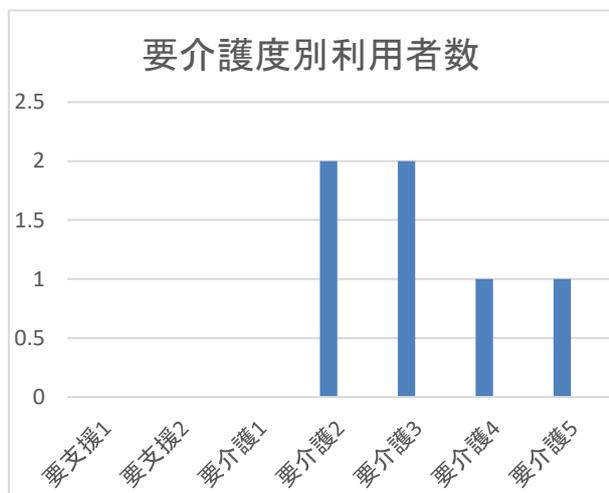
	男 性	女 性	全 体
平均年齢	88	85	86
最高年齢	88	93	93
最低年齢	88	67	67

## (4) 在籍年数別利用者数 単位:人

	男 性	女 性	合 計
1年未満	1	0	1
1～3年未満	0	2	2
3～5年未満	0	1	1
5～10年未満	0	2	2
10～15年未満	0	0	0
15年以上	0	0	0
合計	1	5	6

## (5) 要介護度別利用者数 単位:人

要介護度	全 体	割 合
要支援1	0 人	0%
要支援2	0 人	0%
要介護1	0 人	0%
要介護2	2 人	34%
要介護3	2 人	34%
要介護4	1 人	17%
要介護5	1 人	17%
合計	6 人	100%



## ※平均要介護度

平成30年度	3.2
平成29年度	3
平成28年度	3.76

## (6) 認知症高齢者の日常生活自立度

単位:人

ラ ン ク	判 定 基 準	合 計
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	0
Ⅱ a	家庭外で、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られても、誰かが注意していれば自立できる。	1
Ⅱ b	家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる。	1
Ⅲ a	日中を中心として、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。	2
Ⅲ b	夜間を中心として、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。	1
Ⅳ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	1
M	著しい精神症状や問題行動あるいは、重篤な身体疾患が見られ専門医療を要する。	0
合 計		6

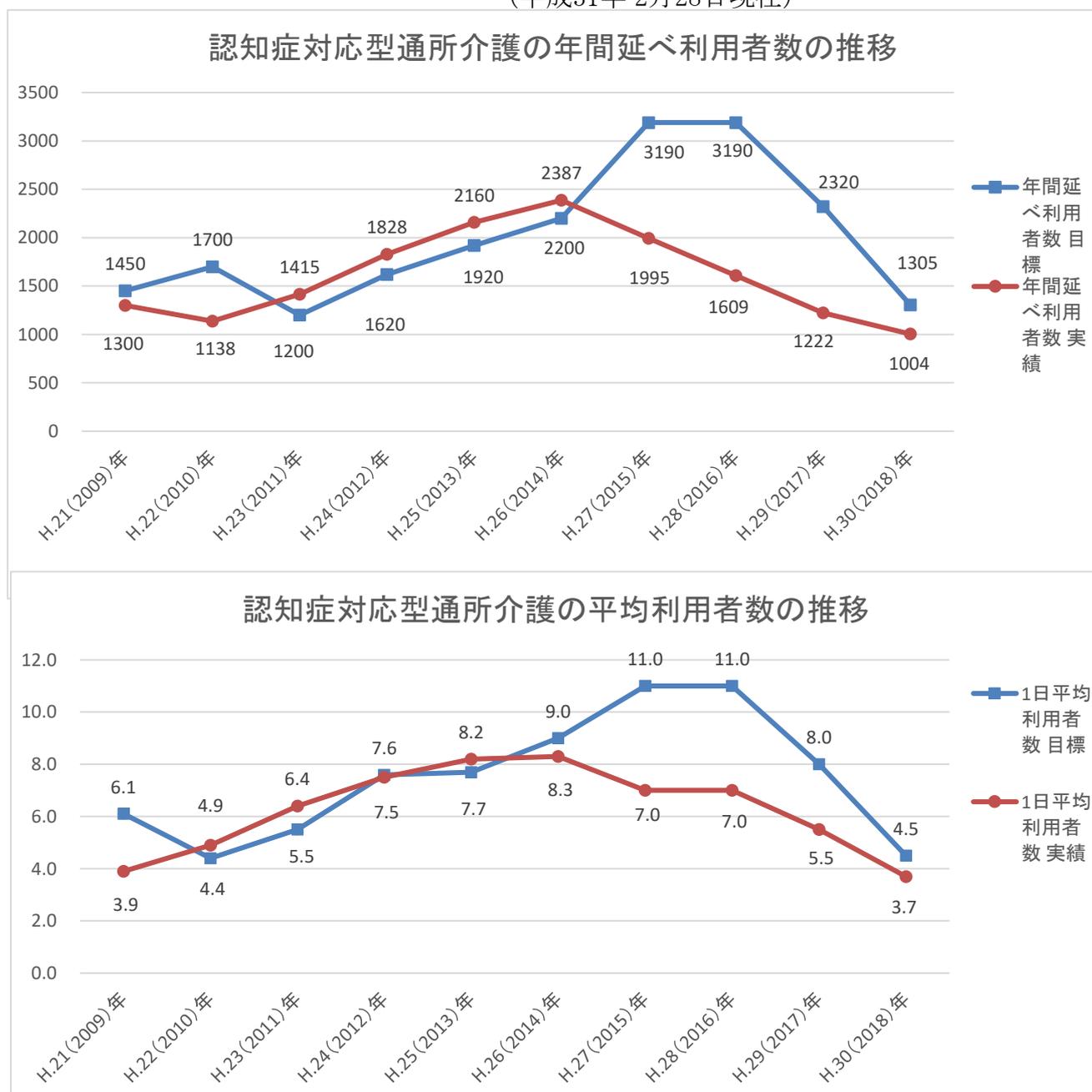
#### 4. 1日のスケジュール

8:30	迎え
9:30	バイタルチェック・水分補給
9:45	手作業(脳トレ)・入浴
11:45	嚥下体操
12:00	昼食
12:45	口腔ケア
13:00	レクリエーション
13:50	休憩(水分補給)
14:00	生活リハビリ
14:30	喫茶
15:00	リハビリ(運動リハ)
16:20	下肢の体操
16:35	送り

#### 5. 過去10年間の延べ利用者数と平均利用数の推移 (単位:人)

	年間延べ利用者数		1日平均利用者数	
	目標	実績	目標	実績
H.21(2009)年	1450	1300	6.1	3.9
H.22(2010)年	1700	1138	4.4	4.9
H.23(2011)年	1200	1415	5.5	6.4
H.24(2012)年	1620	1828	7.6	7.5
H.25(2013)年	1920	2160	7.7	8.2
H.26(2014)年	2200	2387	9.0	8.3
H.27(2015)年	3190	1995	11.0	7.0
H.28(2016)年	3190	1609	11.0	7.0
H.29(2017)年	2320	1222	8.0	5.5
H.30(2018)年	1305	1004	4.5	3.7

(平成31年 2月28日現在)



## 6. 行事及び内容

日時	行事名	行事内容
4月8・13日	花見	丸山公園へ桜を見に出掛ける
4月19・20日	八重桜見学	恒屋川河口へ八重桜を見に出掛ける
5月2・11日	鯉のぼり見学	グリーンエコー笠形へ鯉のぼりを見に出掛ける
5月20日	森林浴	夢前町菅生ダムへ森林浴へ出かける
5月26日	小学校運動会見学	船津小学校での運動会見学
6月2日	姫路バラ園見学	バラの観賞と喫茶コーナーでの談笑
6月16日	菩提樹祭り見学	中野地区、薬師寺での菩提樹祭りに参加
7月7日	七夕祭り	七夕にちなんだ、笹飾り作り、思い出話、唄
7月20日	そうめん流し	昼食時、そうめん流しを行う
8月21日	Café ZIN	ハンドドリップコーヒーとおやつを食べながらの談笑
9月13日	敬老会	施設職員による、ウクレレの伴奏での合唱と感謝状の贈呈
9月13日	Café ZIN	ハンドドリップコーヒーとおやつを食べながらの談笑
9月29日	運動会見学	船津こども園へ運動会見学に出掛ける
10月6日	祭屋台見学	マルタ産業駐車場へ、地域の祭り屋台での見学
10月16日	Café ZIN	ハンドドリップコーヒーとおやつを食べながらの談笑
10月18日	コスモ見学	園芸センターへコスモス鑑賞に出掛ける
10月22日	Café ZIN	ハンドドリップコーヒーとおやつを食べながらの談笑
11月6日	紅葉見学	香寺運動公園へ紅葉観賞に出掛ける
11月7日	森林浴	藤ノ木公園へ、森林浴に出掛ける
11月8日	コスモス見学	姫路園芸センターへコスモス鑑賞に出掛ける
11月10日	銀杏見学	手柄山公園へ銀杏鑑賞に出掛ける
11月13・19日	Café ZIN	ハンドドリップコーヒーとおやつを食べながらの談笑
12月22日	クリスマスケーキ	ケーキショップへ出かけ、クリスマスの雰囲気とケーキを味わう
12月28日	忘年会	昼食時、年間行事の写真のスライドショーを見ながら、皆で鍋を囲む
1月4日	初詣	利用者の氏神様へ初詣に出掛ける
1月19日	植物園見学	姫路温室植物園見学に出掛ける
2月16日	サンピア夢前	和食ランチを食べに出掛ける
2月8日,14日	プロバンス	プロバンスへバレンタインケーキセットを食べに出掛ける
2月19日	木育キャラバン	丹波年輪里来訪主催の、木育行事に参加。
2月20日	ふくろう	お好み焼きを食べに出掛ける
2月23日	ビブテキのカワムラ	ハンバーガーランチを食べに出掛ける
2月21日	ケーキデコレーション	職員と利用者で、ケーキにデコレーションを行う
2月28日	お別れ会	Café Zinにてケーキを食べながら、スライドショーを鑑賞 記念写真贈呈

## 7. 目標達成率

一日平均 利用者数	目標	結果	達成率82.2%
	4.5名/日	3.7名/日	

## 8. 実績結果に対する考察

平成30年(2018年)度の1日平均利用者数の実績は、3.7人と目標(4.5人)より0.8人少ない結果となった。

目標を下回った原因として、新規利用者の獲得が少ない事が挙げられる。近隣に、他事業所の小規模多機能型居宅介護支援事業所などの競合する施設が増えたことや、それらとの差別化を図ることが出来ず、他者から見ての優位性を見出すことが出来なかったことが考えられる。

利用者家族、紹介頂いたケアマネジャーからは、「利用者様の事を良く理解しているので安心して任せれます」との声を頂いたが、新規利用者の紹介は無かった。その要因として、日曜・祝日が休業、利用時間の短さ、単位数に見合ったサービスが提供されていない(認知症対応型通所介護の平均介護度3の方で、利用料が350円しか変わらない)、家族の送り出し迎え入れに対する労力が挙げられる。

営業先として、居宅介護支援事業所、地域の医療機関や調剤薬局へ出向き新規利用者獲得を目指したが、主治医、地域の調剤薬局からの利用者紹介は、1件であった。チラシだけでなくタブレットで写真などを提示し、より親しみの持てる営業活動を行ったが、実績に繋がらななかった。

また、夢前町在住の方の利用検討があったが、送迎範囲外の為利用には繋がらなかった。その為、死亡などの理由で利用中止になった、4名の補充が出来なかった。

近隣地区の認知症の方のニーズを吸い上げる事が出来ず、利用者数が減少し、収支も赤字であり、回復も見込めない事から、平成31(2019)年2月28日付けで、事業廃止に至った。

## 9. 平成30年度事業計画に対する結果と考察

目標達成の具体策として、継続利用の長期化を目指しリハビリ・レクリエーションなどを効果的に実施し、利用者の心身の能力の維持向上を図った。

また、屋外移動訓練として、外出先での機能訓練を多く取り入れた。道の傾斜や段差を乗り越えるなど、バリアフリーである施設内では出来ない事が実施出来た。桜などの季節の花を観ながらの訓練は、利用者の喜びにも繋がった。

そして、家庭で外出する機会が減っているので、事業廃止前の平成31年2月は、鉄板焼き外食や、喫茶店にお茶に行く等、満足度の向上に努めると共に思い出作りを実施し、最後に「楽しかった」と思ってもらえる様に努めた。